# 国際科学史技術史 ·科学基礎論連合
# IUHPST
# /科学基礎論部門DLMPST/

International Union of History and Philosophy of Science and Technology / Division of Logic , Methodology and Philosophy of Science and Technology

**IUHPST…科学・技術の発展史や哲学・論理・方法、社会との関係を研究する国際組織**
**DHST（科学史技術史部門）とDLMPST（科学基礎論部門）で構成**
**DLMPST…科学・技術の哲学的問題・論理・科学方法論科学と人間関係の研究**

加盟国：正規38ヶ国、準加盟1ヶ国、会員候補1
傘下団体：12国際学術機関、DHSTとの共同コミッション４組織、DLMPST コミッション2組織

2024年12月
日本学術会議　史学委員会IUHPST分科会

# DLMPST（科学基礎論）

## 科学基礎論とは

論理、方法論、科学・技術哲学 (Logic, Methodology and Philosophy of Science and Technology)

**１論理学、科学・技術全体と諸個別分野の基礎論**

（基礎概念、基礎的・哲学的諸問題の明確化）

例：数学の基礎の論理研究から ➡ 計算論・コンピュータの理論モデルが誕生 ➡ 現代のデジタル情報社会発展に理論的に貢献 ➡ デジタル環境の社会的諸問題研究　ユネスコが世界論理デー制定

**２科学方法論、科学知識の捉え方の研究**

**３科学・技術と社会との関わり**

（倫理的問題、政策論を含む）

## 科学基礎論の特徴

- 科学・技術の側面と哲学・人文社会諸科学の側面とを横断する研究領域である。
- 個別科学や社会と関わりながら成果を生み出している.

# IUHPST/ DLMPSTの目的と国際組織

国際哲学・人文科学会議

CIPSH

IUHPST

International Union of History and Philosophy of Science and Technology

1956 IUHPS
2015 IUHPST
（名称変更）

国際学術会議　ISC

International Science Council

日本
学術会議

## IUHPSTの目的

1 科学基礎論部門DLMPSTと科学史技術史部門DHSTとの連携強化と、両部門を代表してISCと連携
2 研究発展のための諸々の処置、資料収集
3 科学諸分野の連携、個別分野のディシプリンでの諸問題、方法にもとづいての交流

## 科学基礎論部門

DLMPST

International Union of History and Philosophy of Science and Technology

1949 国際科学哲学連盟
1956 DLMPS設立
2015 DLMPST (名称変更)

## DLMPSTの目的

1 対象領域の研究促進
2 研究者間の交流支援
3 国際会議・学術行事開催、資料収集
4 DHSTとの連携、UNESCO上位組織との連携、メンバー国際団体との連携

38ヶ国、準加盟1国

12国際団体

DHST科学史
技術史部門

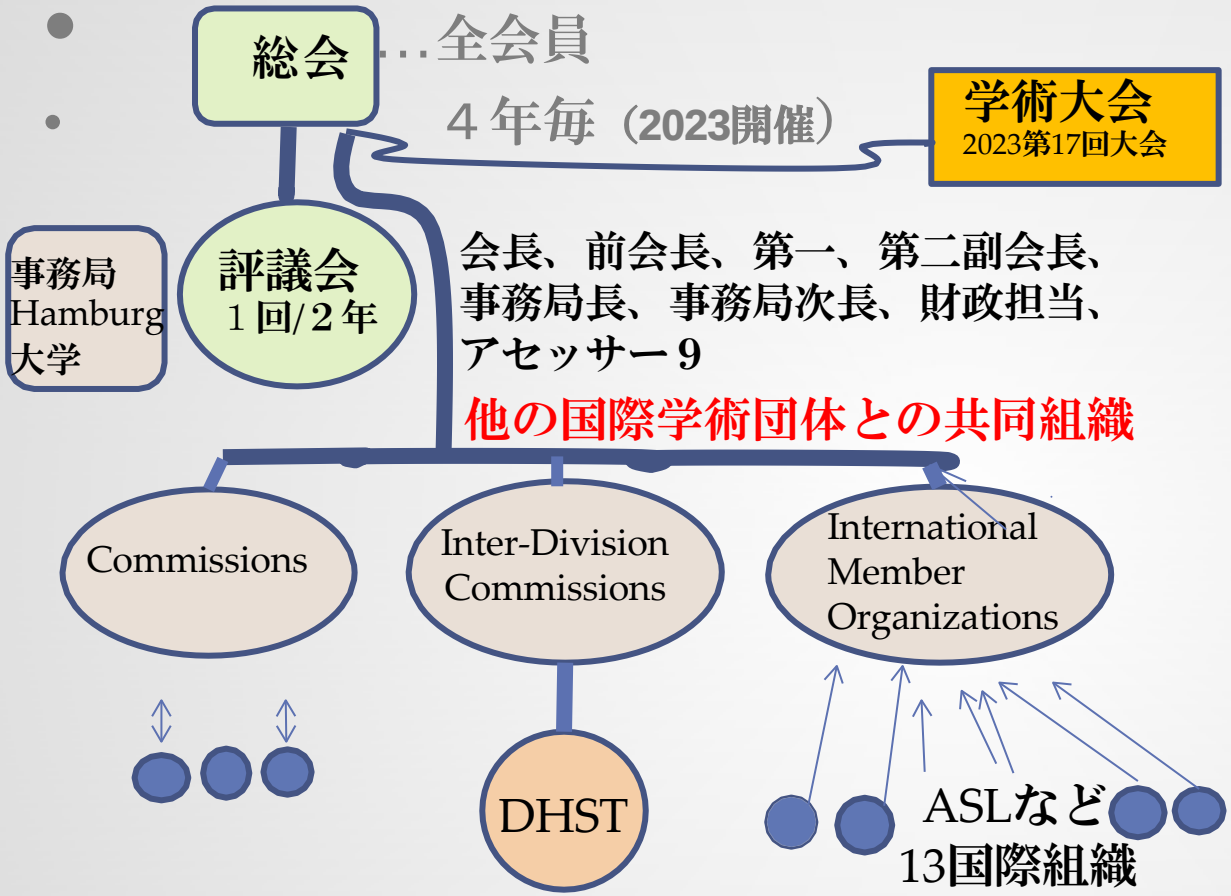
1929 国際科学史会議
1947 IUHS
1956 DHS設立
2013 DHST（変更）

42ヶ国、準加盟4ヶ国

6国際団体

# IUHPST/DLMPSTの組織と運営

他の専門分野と連携して人類知を推進




◎ＤＬＭＰＳＴの活動
- ◆学術研究（大会、シンポ、個別分野研究会）
- ◆若手・発展途上国支援
- ◆科学と社会関連問題のシンポジウム

◎他学術国際組織との共同研究組織運営
- ◆inter-division commission
- ◆他分野の研究発展と連携

◎DHSTと合同で形成しているIUHPST（DHSTと合同で構成）の2年毎の運営

◎上部団体との連携
- ◆ISC 加盟
  …主として自然科学、社会科学
- ◆CIPSH 加盟
  …人文科学哲学

# DLMPSTの事業と日本への影響

## DLMPST最近の学術的成果

４年毎の世界最大規模の学術コングレス
- 2023ブエノスアイレス17回大会テーマ　不確実世界における科学と価値の確立
- 2019プラハ第16回大会テーマ　異なる学術文化間の架橋
- 2015ヘルシンキ大会テーマ
  DLMPST分野科学教育ヘルシンキ宣言など

個別学術研究の進展

持続的発展のための基礎科学年の取組

## 日本への影響

**DLMPST2027年次期DLMPST総会・コングレスの日本開催が決定**

・2019年プラハ大会シンポジウムテーマをもとに日本側で2021年欧文誌「統計学の哲学」特別号の発刊
・同大会若手発表者がコメントを得て学位論文完成例
・個別課題研究交流の進展

## DLMPST最近の社会的取組

ユネスコ「世界論理デー」
World Logic Day設定をUNESCO会議に提案し採択
(CIPSHと共同提案 / DLMPST側でCoordinatin)
デジタル情報環境の公平性・公正性・透明性
DLMPST日本会議(2021)　関連HaPoC共催会議(2024)

## 共同研究の進展

日本でも積極的に論理デー参加行事を企画・推進、広報も協力
2021年UNESCO世界論理デー及びCIPSH総会・国際会議日本
DLMPST系グループ企画：不一致の克服に向けた「不一致の論理とリーズニング」日仏会議

CIPSH
（国際哲学人文科学会議）との共同

DLMPST分野日本研究者グループのイニシアティヴ

「科学・技術と人文科学」

CIPSH総会東京
国際会議2023年

# 日本学術会議・日本の研究者のDLMPSTへの貢献

## 組織運営への近年の貢献

- 2011～2015 八杉満利子（京都産業大学教授）：アセッサー
- 2016～2019 岡田光弘（慶應義塾大学教授）：アセッサー
- 2019～2021 岡田光弘（慶應義塾大学名誉教授）：シンポジウム共同Chair
- 2019～2021 岡田光弘（慶應義塾大学名誉教授）：第二副会長
- 参考：2007～2011 内井惣七（京都大学教授）：第一副会長

## 学術的貢献

DLMPSTとの連携によるCIPSH東京会議　2022年
「科学・技術と人文科学」などのテーマ：日本のDLMPTがコーディネーターを務める

- **DLMPSTとCIPSHの提案によりUNESCOで採択された世界論理デーの活動に日本が積極的に参加**

４年に１回開催の国際科学基礎論(論理・方法議・科学技術哲）2027年総会・コングレスの日本（神戸）開催が決定
（このほか、2021年DLMPST共催シンポジウム日本（大阪）開催2024年DLMPST-DHST委員会HaPoC共催会議日本(東京）開催)